

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%	利用人数が増えたことにより、狭く感じる時がある。	コロナが流行した時は、密回避のために1階の面談室を使用して2グループに分けて活動しました。活動によって近隣の公園や公共施設を借りています。
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	25%	子どもと余裕をもって関わられるように、もう1人職員が欲しい。配置基準は問題ないものの、利用人数や利用者の特性により、もう一人いると余裕をもって療育ができると思う。	県の配置基準は満たしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	50%	2階へ上がる階段が危ないものの利用者は上手に上がれている。トイレ前の段差でつまづくことがある。	階段の昇降には必ず職員がつく、階段に滑り止めを貼る等の工夫をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%	外部評価を行っていない。	第三者委員会による不定期訪問で評価していただきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		今年はLITALICO発達ナビやHUG等のオンラインセミナーや県の研修を月1回以上行った。	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	イベントは職員会議で話し合うが、ふだんの集団療育は主の先生に任せきりになっている。	支援計画の目標に沿った活動プログラムを職員全員で話し合います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善点を踏まえた改善内容又は改善目標
の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	25%	年明け後にやらない日があったので、必ず打ち合わせをする。それ以前は毎回必ず行っていた。	できなかった日は翌日行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画で行っているか	100%			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			
	26	地域施設との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	50%	コロナが流行していることもあり、交流することはありませんでした。	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの影響で障害のない子どもと活動する機会を設けることができませんでした。地域施設は、カルチャーセンターや八千浦交流館はまぐみを利用しました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	75%	25%		新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの影響で参加できませんでした。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%	コロナ禍でできていない。	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの影響で実施できませんでした。今後は実施できるよう計画していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		HUGの活動記録を頻繁に更新し、集団療育の様子やイベントの様子等を保護者に発信できた。	
	34	個人情報に十分注意しているか	100%			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	25%	マニュアルの変更ができていないので、早急に見直し、職員で共通理解を図るようにする。今年度は水害を想定した避難訓練を1回実施しました。また、3教室合同で防犯教室や交通安全教室を実施しました。	マニュアルの変更を早急に行い、職員間で共通理解を図ります。また、職員や保護者への周知を徹底します。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%	訓練が1回しかできなかったため、保護者に周知した上でもう少し回数を増やして行う。また、保護者への受け渡し訓練も同時に行う。	避難訓練の実施回数を増やします。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			